

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は SDGs 教育を推進しています。

青少年宇宙科学館 >>>>>>>

見て、ふれて、考えて、
チャレンジできる科学館

「宇宙や科学技術への夢や希望をはぐくむ教育の推進」を基本理念に掲げ、「宇宙時代をたくましく生き未来を創造する人材」を育てます。



■所在地：さいたま市浦和区駒場 2-3-45 ■電話：048-881-1515 ■FAX：048-882-9702
■交通：JR 浦和駅 国際興業バス グランド経由 JR 北浦和駅東口行き 宇宙科学館入口下車 徒歩 3 分
JR 北浦和駅東口 国際興業バス グランド経由 JR 浦和駅行き 宇宙科学館入口下車 徒歩 3 分

01 「宇宙のまち さいたま」教育プロジェクト



「宇宙時代」の到来を見据え、教育と人材育成を主軸とした「宇宙のまち さいたま」教育プロジェクトを策定しました。当館はその実現に向け「他者と協働し常に挑戦し続け、新たな時代を創り出す人」や「宇宙開発の最前線で活躍するという夢や志をもち、その実現に向けて努力し続けることができる人」の育成に取り組んでいます。若田光一 JAXA 宇宙飛行士による講演会をはじめ、企業や大学、研究者等による専門的な知識を有する「宇宙のまち さいたま」サポーターによる教室事業やワークショップ等の魅力あふれる学びや、児童生徒が挑戦したり、活躍したりできる多種多様な学びの場の提供を行っています。こうした取組を通じて、SDGs の目標 4 「質の高い教育をみんなに」に貢献していきたいと考えています。

02 宇宙開発の疑似的体験



当館では、宇宙開発には欠かせないロボットに焦点を当て、ローバーロボット大会やプログラミングロボット教室、ロボット作り教室を行い、ロボットや科学技術への興味・関心を高める事業を行っています。さらに最先端の研究を進める大学や企業とのコラボレーションにも取り組んでいます。こうした取組を通じて、SDGs の目標 9 「産業と技術革新の基礎をつくろう」に貢献していきたいと考えています。

03 身の回りの「なぜ?」「どうして?」



当館では、学校連携や教育普及に力を注ぎ、科学の楽しさや面白さに触れ、興味・関心を高めるスクール・サポート・サイエンス事業を行っています。市立小学校児童に向けて、身近にあるエネルギーに着目し、省エネルギー、再生可能なクリーンエネルギーの仕組みや実用性を体験できる出前授業を行っています。また、講演会や各種教室事業などの応募方法を、はがきから Web システムに移行します。地球環境を守りながら、地球への思いやり、地球人としての価値観と文化をはぐくむことに貢献できるよう取り組んでいきます。こうした取組を通じて、SDGs の目標 13 「気候変動に具体的な対策を」に貢献していきたいと考えています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

さいたま市宇宙劇場 > > > > > >

市民に愛される“にぎわいの劇場”

「市民の科学知識の普及と文化活動の推進を図り、地域文化の向上に寄与する」を設置目的に掲げ、市民のみなさまに宇宙や科学の知識といった「わくわく」を提供する架け橋となります。



■所在地：さいたま市大宮区錦町682-2 JACK 大宮ビル3階 ■電話：048-647-0011
■FAX：048-647-0066 ■交通：大宮駅西口徒歩5分

01 市民と科学・宇宙をつなぐ架け橋

専門スタッフによる生解説



当館は、社会教育施設として全ての市民を対象とし、ライフステージに合わせて科学や宇宙への興味・関心を高め、生涯を通じて学び・楽しむ機会を提供しています。

プラネタリウムでは専門スタッフ

(学芸員等専門資格保有者)による生解説を基本とし、個性豊かで専門性の高い解説を行うことで楽しみながら科学リテラシーをはぐくみます。そのため「星空の時間」「こどもの時間」「映像の時間」「音楽の時間」「みんなの時間」と5つの番組枠を設け、観覧する番組を年齢や興味・関心別に選択しやすい環境を用意しています。なかでも「みんなの時間」では通常のプラネタリウム投映への参加に心配のある方も安心して観覧できるように工夫をして、どなたでも気兼ねなくプラネタリウムを楽しめるように取り組んでいます。

そのほか市民と専門家が直接触れ合える機会を大学や企業と連携して設け、市民がより科学や宇宙を身近に感じることでできる参加型事業も展開しています。

様々な体験を通して、「自ら気づき、発見することの喜び」を感じられる豊かな心をはぐくむことにより、SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」に貢献していきたいと考えています。

